

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年11月12日

【四半期会計期間】 第126期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 神東塗料株式会社

【英訳名】 SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高 沢 聡

【本店の所在の場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 青 山 忠 嗣

【最寄りの連絡場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6429)6264

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 青 山 忠 嗣

【縦覧に供する場所】 神東塗料株式会社東京事業所
(東京都江東区新木場四丁目3番17号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第125期 第2四半期 連結累計期間	第126期 第2四半期 連結累計期間	第125期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	11,088	11,638	22,117
経常利益 (百万円)	361	443	681
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失() (百万円)	534	262	324
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	684	285	391
純資産額 (百万円)	16,816	17,216	17,109
総資産額 (百万円)	36,147	35,114	36,370
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円)	17.26	8.46	10.47
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	44.5	46.8	44.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,024	10	1,072
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	245	506	507
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	245	118	192
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	3,639	2,841	3,477

回次	第125期 第2四半期 連結会計期間	第126期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	20.35	3.99

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き国内の設備投資、鉱工業生産は堅調に推移しておりますが、中国経済減速等による外需の落ち込み、中東地域における地政学リスクの高まりなどの影響により、先行き不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発等による積極的な販売活動を展開するとともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,638百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。損益面では、営業利益は353百万円（前年同四半期比12.5%増）、経常利益は443百万円（前年同四半期比22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失534百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（塗料事業）

アルミ電着塗料分野は、輸出は昨年に引き続き低調であったものの、国内主要ユーザーの生産ライン獲得による出荷増により、売上高は増加いたしました。

工業用電着塗料分野は、配電盤、農機、住宅建材向け出荷が堅調に推移した他、新規ラインの獲得や売価改善の実現もあり、売上高は増加いたしました。

粉体塗料分野は、主力の鋼製家具、家電、電気機器メーカー向け出荷が引き続き堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

工業用塗料分野は、主力の建設機械、工作機械、形鋼、ゴルフボール向け出荷がいずれも堅調に推移した他、新製品の投入も順調に推移したため、売上高は増加いたしました。

建築塗料分野は、集合住宅向けのリフォーム用外装材や工場向け床材の出荷が好調に推移した他、工事売上の前倒しがあったことから、売上高は増加いたしました。

防食塗料分野は、昨年好調であった新設橋梁物件の出荷が低調に転じた他、民間プラント向けの大型案件受注が減少したため、売上高は減少いたしました。

道路施設用塗料分野は、天候不順やG20開催等による交通規制の影響を受けたものの、すべり止め材、カラー舗装材、段差修正材等の高付加価値品の出荷が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

軌道材料製品分野は、整備新幹線向け出荷が開始されたものの、レール面整正用可変パッドの出荷が低調に推移し、売上高は減少いたしました。

自動車用塗料分野は、輸出は回復に転じたものの、国内向け出荷が主要ユーザーの減産の影響により低調に推移し、売上高は減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は10,726百万円（前年同四半期比3.9%増）、経常利益は421百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は911百万円(前年同四半期比19.7%増)、経常利益は21百万円(前年同四半期は6百万円の経常損失)となりました。

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金の減少636百万円および受取手形及び売掛金の減少622百万円等により、35,114百万円(前連結会計年度末比1,256百万円減)となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金の減少1,181百万円等により、17,898百万円(前連結会計年度末比1,363百万円減)となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が107百万円増加したこと等により、17,216百万円(前連結会計年度末比107百万円増)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、2,841百万円(前年同四半期比797百万円減)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは10百万円(前年同四半期比1,034百万円減)となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益442百万円、減価償却費295百万円、売上債権の減少621百万円による増加、仕入債務の減少1,181百万円による減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは506百万円(前年同四半期比260百万円減)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出485百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは118百万円(前年同四半期比127百万円増)となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入1,100百万円、長期借入金の返済による支出1,139百万円、配当金の支払による支出154百万円等によるものであります。

(3) 経営方針、経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針、経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は120百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	31,000,000	31,000,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年9月30日		31,000		2,255		585

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式数 の割合(%)
住友化学(株)	東京都中央区新川二丁目27番1号	13,989	45.16
神東塗料取引先持株会	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号	1,363	4.40
日本マスタートラスト信託銀行 (株)(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	695	2.24
阪本重治	山梨県甲府市	501	1.62
三井住友海上火災保険(株)	東京都千代田区神田駿河台三丁目9番地	415	1.34
日本トラスティ・サービス信託 銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	409	1.32
神東塗料社員持株会	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号	315	1.02
日本トラスティ・サービス信託 銀行(株)(信託口5)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	307	0.99
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	240 GREENWICH STREET, NEW YORK, NY 10286, U.S.A	250	0.81
住友商事ケミカル(株)	東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号	235	0.76
計	-	18,480	59.66

(注) 上記の所有株式数のうち、日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)695千株、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)409千株、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)307千株の所有株式は信託業務に係るものであります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 22,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,971,800	309,718	-
単元未満株式	普通株式 5,400	-	-
発行済株式総数	31,000,000	-	-
総株主の議決権	-	309,718	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が60個含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町 六丁目10番73号	22,800	-	22,800	0.07
計	-	22,800	-	22,800	0.07

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,510	2,874
受取手形及び売掛金	2 7,796	7,173
商品及び製品	1,898	1,828
原材料及び貯蔵品	618	721
その他	221	235
貸倒引当金	11	14
流動資産合計	14,034	12,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,159	2,122
機械装置及び運搬具（純額）	1,054	1,050
土地	15,800	15,800
その他（純額）	316	307
有形固定資産合計	19,330	19,280
無形固定資産	318	321
投資その他の資産		
投資有価証券	1,907	1,879
その他	781	814
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	2,687	2,692
固定資産合計	22,336	22,294
資産合計	36,370	35,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 6,963	5,782
短期借入金	2,937	2,934
未払法人税等	124	140
賞与引当金	272	257
役員賞与引当金	14	5
その他	2 933	669
流動負債合計	11,244	9,789
固定負債		
長期借入金	1,777	1,840
再評価に係る繰延税金負債	3,910	3,910
役員退職慰労引当金	6	7
退職給付に係る負債	1,684	1,721
その他	638	629
固定負債合計	8,016	8,109
負債合計	19,261	17,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	5,444	5,552
自己株式	4	4
株主資本合計	8,281	8,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187	179
土地再評価差額金	7,929	7,929
為替換算調整勘定	60	64
退職給付に係る調整累計額	7	7
その他の包括利益累計額合計	8,064	8,052
非支配株主持分	764	776
純資産合計	17,109	17,216
負債純資産合計	36,370	35,114

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,088	11,638
売上原価	8,898	9,329
売上総利益	2,190	2,308
販売費及び一般管理費		
発送費	288	299
広告宣伝費及び販売促進費	51	52
従業員給料及び手当	477	499
賞与引当金繰入額	121	118
退職給付費用	35	35
減価償却費	63	61
試験研究費	105	120
その他	732	768
販売費及び一般管理費合計	1,876	1,955
営業利益	314	353
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	14
受取賃貸料	13	12
持分法による投資利益	25	71
その他	4	5
営業外収益合計	61	104
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	0	1
支払補償費	8	7
その他	0	0
営業外費用合計	13	14
経常利益	361	443
特別損失		
固定資産除却損	2	0
減損損失	720	-
特別損失合計	722	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	360	442
法人税等	135	137
四半期純利益又は四半期純損失()	496	304
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()	534	262
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	42

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	16
為替換算調整勘定	127	3
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	29	0
その他の包括利益合計	187	18
四半期包括利益	684	285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	250
非支配株主に係る四半期包括利益	25	35

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	360	442
減価償却費	311	295
減損損失	720	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	2
賞与引当金の増減額(は減少)	0	15
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6	8
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	59	37
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	17	15
支払利息	4	4
為替差損益(は益)	2	0
持分法による投資損益(は益)	25	71
有形固定資産除却損	2	0
売上債権の増減額(は増加)	219	621
たな卸資産の増減額(は増加)	95	33
仕入債務の増減額(は減少)	279	1,181
未払消費税等の増減額(は減少)	3	28
その他	36	112
小計	1,134	3
利息及び配当金の受取額	77	98
利息の支払額	3	5
法人税等の支払額	183	100
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,024	10
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	150	485
無形固定資産の取得による支出	80	24
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	15	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	245	506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	100
長期借入れによる収入	1,100	1,100
長期借入金の返済による支出	1,167	1,139
自己株式の取得による支出	0	-
配当金の支払額	154	154
非支配株主への配当金の支払額	24	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	245	118
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	1
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	514	636
現金及び現金同等物の期首残高	3,125	3,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,639	1 2,841

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

当社の持分法適用会社である神之東塗料貿易(上海)有限公司に対して債務保証を行っていますが、前連結会計年度末及び当第2四半期連結会計期間末時点において借入金及び保証の実行残高はありません。

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	442百万円	-百万円
支払手形	354百万円	-百万円
設備関係支払手形	38百万円	-百万円

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

1 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当社グループは、事業の区分をもとに概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位にて資産のグルーピングをしています。

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるPT.Shinto Paint Manufacturing Indonesiaにおける業績の悪化等により、以下の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(720百万円)として特別損失に計上しております。

会社名	用途	種類	減損損失 (百万円)
PT.Shinto Paint Manufacturing Indonesia (Bekasi, Indonesia)	工場	建物、機械装置等	720

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	3,672百万円	2,874百万円
預入期間が3か月超の定期預金	33百万円	33百万円
現金及び現金同等物	3,639百万円	2,841百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	2018年3月31日	2018年6月6日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	2019年3月31日	2019年6月12日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,326	761	11,088	11,088
セグメント利益又は損失()	368	6	361	361

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	361
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	361

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

塗料事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において、720百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,726	911	11,638	11,638
セグメント利益	421	21	443	443

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	443
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	443

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	17.26円	8.46円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(百万円)	534	262
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(百万円)	534	262
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,977	30,977

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

神東塗料株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 本 学 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 原 啓 司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。